

三菱マテリアル株式会社
2023年3月期第3四半期決算補足説明資料

2023年2月10日

1.	エグゼクティブサマリ	P.3
2.	損益推移の状況（四半期）	P.4
3.	前年実績対比	P.5
4.	貸借対照表	P.8
5.	23年3月期通期業績予想	P.9
6.	セグメント概況	P.13
7.	UBE三菱セメント(株)概況	P.18
8.	キャッシュ・フロー	P.19
9.	ご参考情報	P.20

エグゼクティブサマリ

2023年3月期 3Qの景況感

- 自動車市場は、回復の遅れがあるがEV関連は安定。自動車市場向け超硬工具は、市場回復遅れ影響を受けるも、北米を中心とした航空機、医療市場は堅調に推移。
- 半導体市場は、不透明感が増しており半導体関連製品への影響が出始めている。来期前半に向けて市況は一段と厳しくなる見込み。
- 金属事業においては、前年度末から下落傾向であった銅価は2Qから若干の回復があったが、円高による減収影響大。

2023年3月期 3Q累計実績 対前年同期比

- 営業利益は、円安影響、銅加工（Luvata社）、金属事業での増販の一方、事業ポートフォリオ再編影響、エネルギーコスト等の増加等により減益。
- 経常利益は、ロス・ペランブレス鉱山からの受取配当金の減少、UBE三菱セメント社（MUCC）での石炭価格の高騰等による持分法投資損失により減益。
- 純利益は、多結晶シリコン事業譲渡に関する特別損失等により減益。

2023年3月期 4Q及び通期見 通し

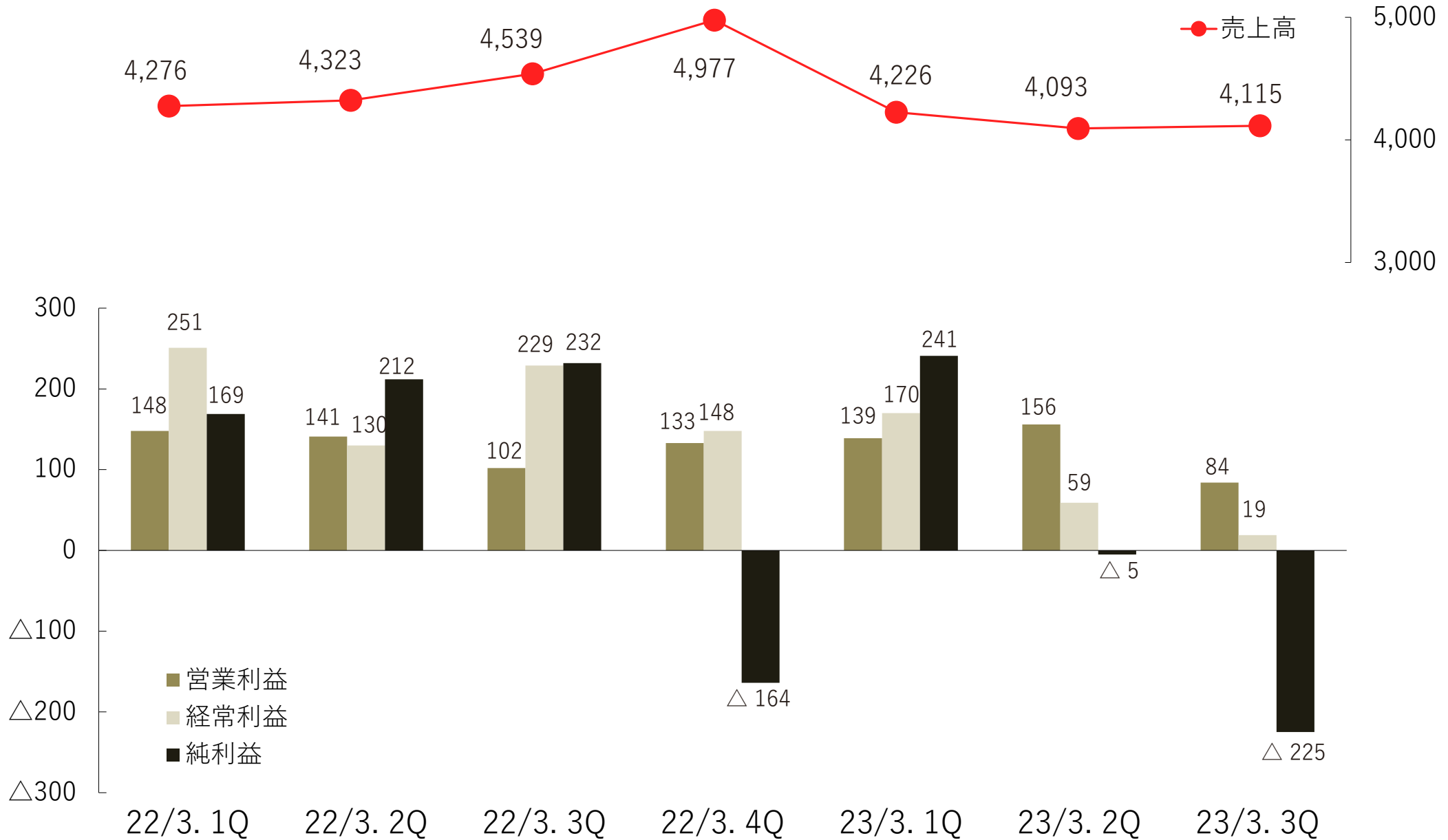
- 4Qは、銅価の回復、電気銅増販等が見込まれるが、自動車・半導体市場の市況悪化、円高傾向及びエネルギーコスト増による下振れが見込まれ、売上は下方修正。
- 営業利益は、全体としてほぼ前回予想並み。
 - ✓ 銅加工事業、電子材料事業、加工事業は自動車・半導体市況悪化、エネルギーコスト増等により減益
 - ✓ 金属事業は、円高影響があるものの、電気銅増販等により増益
- 経常利益は、減益の一方、純利益は税金費用減少等により増益。

今後の展望

- UBE三菱セメント社は、今期は事業再編損失等の一過性の損失が多く見込まれている。来期は、追加値上げの浸透、生産体制見直しによる収益改善、コスト削減策等により、黒字化が期待できる見込み。
- 新たな中期経営戦略では、より長期視点でのキャピタルアロケーションを計画し、強みをもとに金属資源の循環を構築、対象範囲、展開地域、規模の拡大によりバリューチェーン全体での成長を実現することで、企業価値の向上を図る。

損益推移の状況（四半期）

(単位：億円)



前年実績対比（損益計算書）

（単位：億円）

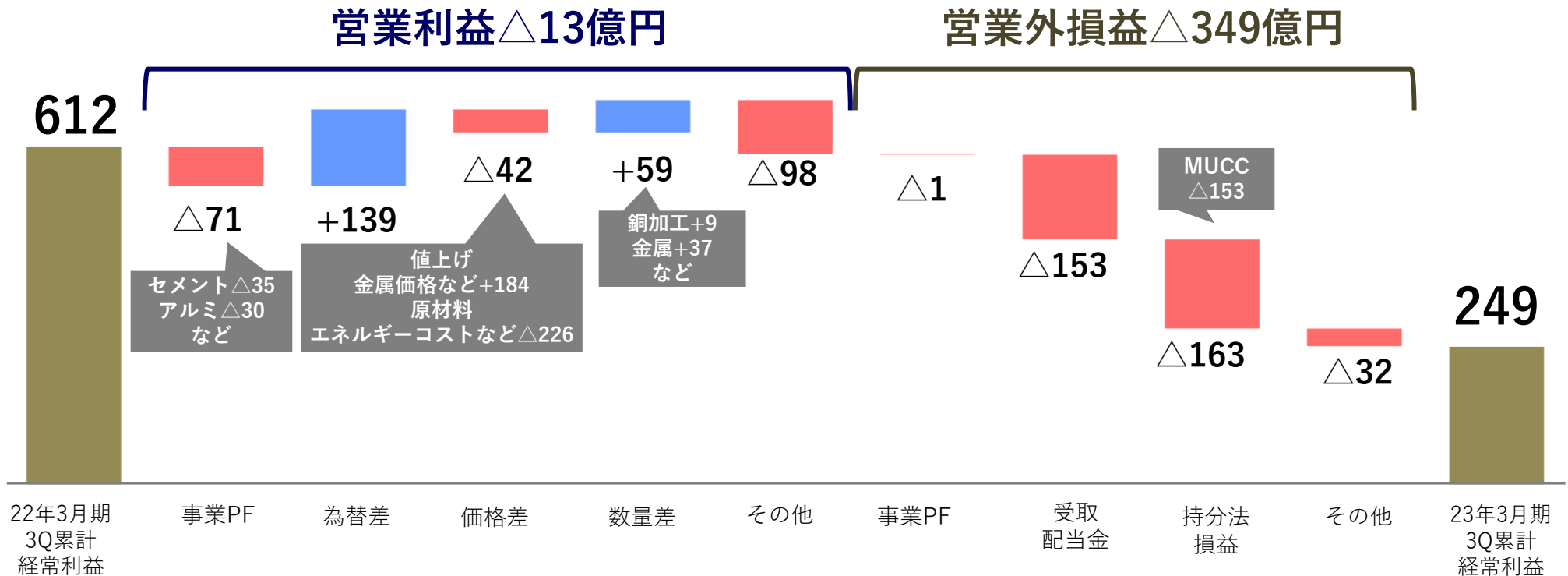
項目	22年3月期 3Q累計実績(a)	23年3月期 3Q累計実績(b)	増減(b-a)
売上高	13,140	12,435	△704
営業利益	393	379	△13
受取配当金	245	89	△156
その他金融収支	△37	△35	1
持分法損益	31	△137	△168
その他営業外損益	△20	△45	△25
経常利益	612	249	△362
特別損益	325	△162	△488
法人税等	△251	△50	201
非支配株主に帰属する四半期純利益	△71	△25	45
親会社株主に帰属する四半期純利益	614	11	△603
ドル為替レート	111	137	(円/\$)
ユーロ為替レート	131	141	(円/€)
銅価格(LME)	435	382	(¢/lb)

前年実績対比（経常利益要因内訳）

営業利益、経常利益共に減益

- 営業利益は、ドル、ユーロを中心に為替水準が円安に推移したことに加え、銅加工での欧米地域を中心とした販売の増加、金属事業での増産、増販があった一方、セメント事業、アルミ事業が連結の範囲から除外された影響に加え、エネルギーコストの増加などにより前年同期比△13億円の減益となった。
- 経常利益は、ロス・ペランブレス鉱山からの受取配当金が減少したことに加え、UBE三菱セメント社の持分法による投資損失の計上などにより前年同期比△362億円の減益となった。

（単位：億円）



前年実績対比（セグメント別内訳）

（単位：億円）

項目	22年3月期3Q累計実績(a)			23年3月期3Q累計実績(b)			増減(b-a)		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
高機能製品 *	3,568	98	116	3,971	75	74	403	△23	△42
銅加工	2,676	30	37	3,041	24	9	365	△6	△28
電子材料	902	67	78	933	55	69	30	△11	△9
加工	989	101	100	1,072	113	117	83	12	17
金属	7,119	169	399	8,365	184	201	1,245	15	△197
環境・エネルギー	132	10	22	130	16	31	△1	6	8
その他 *	3,355	85	63	1,160	44	△122	△2,195	△41	△185
調整額	△2,024	△71	△89	△2,264	△54	△53	△239	17	36
合計	13,140	393	612	12,435	379	249	△704	△13	△362

*高機能製品合計額には、高機能製品共通として銅加工事業、電子材料事業間取引などを含めて記載しております。

*2022年4月1日に実施したセメント事業及びその関連事業等の統合に伴い、セメント関連は「その他」に含めて記載しております。

貸借対照表

(単位：億円)

項目	22年3月末 (a)	22年12月末 (b)	増減 (b - a)
現金・預金	1,592	1,375	△216
受取手形・売掛金	2,498	2,033	△464
棚卸資産	4,545	4,742	196
その他	3,752	3,842	89
流動資産 計	12,389	11,993	△396
有形・無形固定資産	6,777	4,459	△2,317
投資その他資産	2,083	3,189	1,105
固定資産 計	8,860	7,649	△1,211
資産 計	21,250	19,642	△1,607

項目	22年3月末 (a)	22年12月末 (b)	増減 (b - a)
支払手形・買掛金	1,585	1,258	△326
借入金・社債・CP	6,087 29%	5,713 29%	△373
その他負債	7,020	6,499	△520
負債 計	14,692	13,472	△1,220
資本金	1,194	1,194	—
資本剰余金 自己株式	765	766	1
利益剰余金	3,288	3,200	△88
その他の包括 利益累計額	599	624	24
非支配株主持分	709	385	△324
純資産 計	6,557 31%	6,170 31%	△387
負債純資産 計	21,250	19,642	△1,607

自己資本比率	28 %	29 %
ネットDEレシオ	0.77 倍	0.75 倍

23年3月期 通期業績予想

売上高、営業利益は前回予想並み、経常利益は減益の一方、純利益は税金費用の減少などにより増益。

- ROIC及びROAは、経常利益の減益が影響し、前回公表、前年度実績から下振れる見込みとなった。
- ROEは純利益の上方修正により前回公表からは上振れるが、前年度実績を大きく下回る見込み。

(単位：億円)

項目	22年3月期 実績(a)	23年3月期 予想			増減(c-a)
		11/10公表(b)	2/10公表(c)	増減(c-b)	
売上高	18,117	16,900	16,800	△100	△1,317
営業利益	527	440	430	△10	△97
経常利益	760	180	150	△30	△610
親会社株主に帰属する当期純利益	450	30	60	30	△390
ROIC (%)	7.0	2.1	1.6	△0.5pt	△5.4pt
ROA (総資産経常利益率) (%)	3.7	0.9	0.2	△0.7pt	△3.5pt
ROE (%)	8.0	0.5	1.1	0.6pt	△6.9pt
一株配当 (円)	90	50	50	-	△40

23年3月期 通期業績予想(為替、銅価格、感応度)

為替、銅価格		23年3月期		
		1Q~3Q平均	4Q平均	年度平均
ドル為替レート	円/\$	137	130	135
ユーロ為替レート	円/€	141	140	140
銅価格 (LME)	¢ /lb	382	395	385

4Q感応度

(単位：億円)

ドル為替レート	1円/\$	営業利益		1.5
ユーロ為替レート	1円/€	営業利益		0.4
銅価格 (LME)	10 ¢ /lb	営業利益	(a)	1.2
		営業外損益	(b)	0.1
		経常利益	(a+b)	1.3

23年3月期 通期業績予想（経常利益要因内訳）

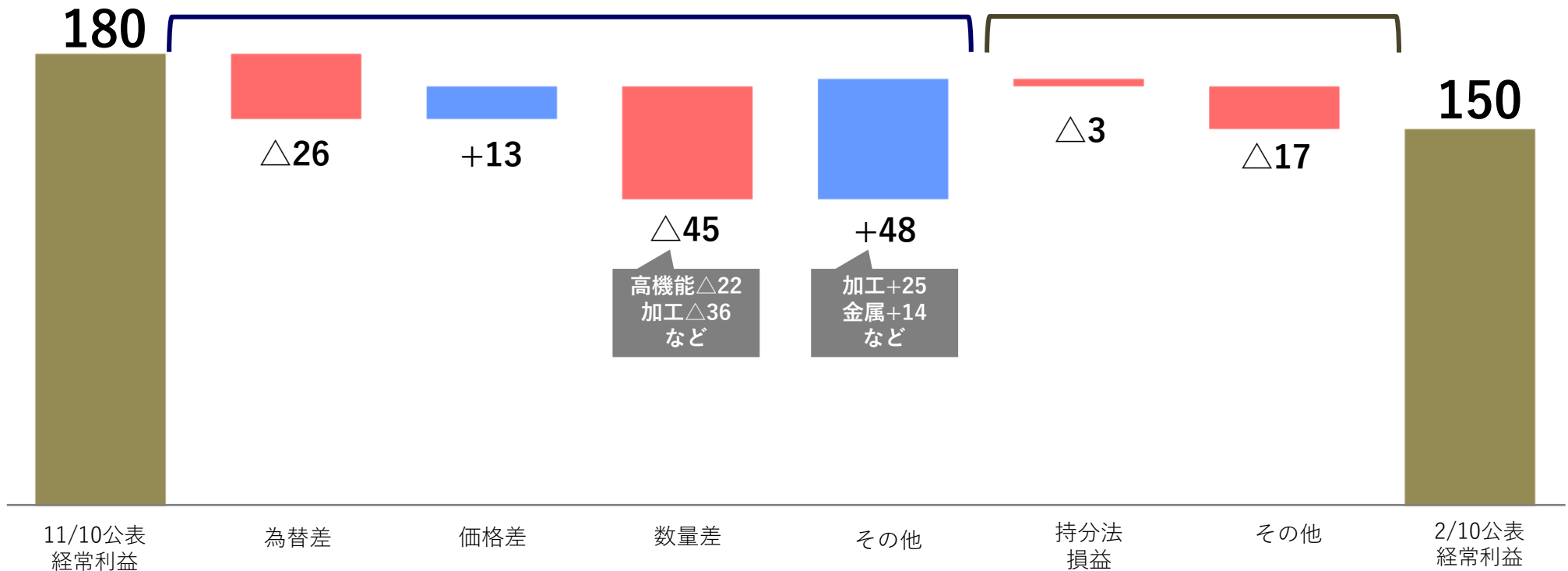
営業利益は前回並み、経常利益は減益を見込む

- 営業利益は、為替水準が前回予想に比べ円高に推移することに加え、高機能製品、加工事業での販売が減少することによる減益を見込む一方、金属事業では電気銅の販売増加、実収効率の改善が見込まれること、加工事業での市場立ち上がり後の供給対応のための在庫積み増しなどによる増益を織込み前回予想並みとしている。
- 経常利益は、為替水準が円高に推移したことによる為替差影響を織込む。

営業利益△10億円

営業外損益△20億円

（単位：億円）



23年3月期 通期業績予想（セグメント別内訳）

（単位：億円）

項目	11/10公表			2/10公表			増減		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
高機能製品 *	5,398	107	99	5,363	79	69	△35	△28	△30
銅加工	4,122	47	25	4,120	19	△4	△2	△28	△29
電子材料	1,285	65	80	1,250	65	77	△35	0	△3
加工	1,501	155	162	1,420	134	137	△81	△21	△25
金属	10,907	197	207	11,105	219	214	198	22	7
環境・エネルギー	181	23	39	171	23	40	△10	0	1
その他 *	1,524	44	△218	1,626	59	△210	102	15	8
調整額	△2,612	△88	△110	△2,885	△84	△100	△273	4	10
合計	16,900	440	180	16,800	430	150	△100	△10	△30

*高機能製品合計額には、高機能製品共通として銅加工事業、電子材料事業間取引などを含めて記載しております。

*2022年4月1日に実施したセメント事業及びその関連事業等の統合に伴い、セメント関連は「その他」に含めて記載しております。

セグメント概況 高機能製品（銅加工）

- 3Q累計実績は、欧米地域の販売が増加した事に加え、販売価格の上昇や、持分法損益の増加などの増益要素があった一方、ヘッジコストや営業外費用の増加により前年同期比で減益。
- 通期見通しは、車載関連、半導体関連需要の調整局面に入り伸銅品販売の減少に加え、LUVATA社では、原材料などのコスト上昇を織込み前回予想からの減益を見込む。
- ROICは、経常利益予想の下方修正により、0.5%までの落ち込みを見込む。

(単位：億円)

項目	22年3月期 3Q累計実績 (a)	23年3月期 3Q累計実績 (b)	増減 (b-a)	22年3月期 実績 (c)	23年3月期 予想		増減 (e-d)	増減 (e-c)
					11/10公表 (d)	2/10公表 (e)		
売上高	2,676	3,041	365	3,666	4,122	4,120	△2	454
営業利益	30	24	△6	46	47	19	△28	△27
経常利益	37	9	△28	53	25	△4	△29	△57
伸銅品販売量	103	101	△2	138	139	135	△3	△3
ROIC (%)					1.8	0.5	△1.3pt	

(単位：千t)

前年実績対比要因内訳額(億円)

前期経常利益	37
事業PF影響	△10
為替差	+3
価格差	+4
数量差	+9
受取配当金	+1
持分法損益	+5
その他	△40
当期経常利益	9

前回予想対比要因内訳額(億円)

前回予想	25
為替差	△2
価格差	△5
数量差	△13
その他	△9
今回予想	△4

セグメント概況 高機能製品（電子材料）

- 3Q累計実績は、為替水準が円安に推移したことにより増益となったが、販売の減少に加えて、国内でのエネルギーコスト、原材料コストの増加などにより前年同期比で減益。
- 通期見通しは、半導体市況の悪化に伴う販売の減少、エネルギーコストの増加などを織込み前回予想からの減益を見込む。
- ROICは、経常利益予想の下方修正があったものの、多結晶シリコン事業譲渡等の影響により、8.1%（前回公表+1.7pt）となる。

（単位：億円）

項目	22年3月期 3Q累計実績 (a)	23年3月期 3Q累計実績 (b)	増減 (b-a)	22年3月期 実績 (c)	23年3月期 予想		増減 (e-d)	増減 (e-c)
					11/10公表 (d)	2/10公表 (e)		
売上高	902	933	30	1,207	1,285	1,250	△35	43
営業利益	67	55	△11	100	65	65	0	△35
経常利益	78	69	△9	116	80	77	△3	△39
ROIC (%)					6.4	8.1	1.7pt	

前年実績対比要因内訳額(億円)

前期経常利益	78
事業PF影響	△3
為替差	+23
価格差	△21
数量差	△3
受取配当金	+1
その他	△6
当期経常利益	69

前回予想対比要因内訳額(億円)

前回予想	80
為替差	△4
価格差	+1
数量差	△9
受取配当金	△2
その他	+11
今回予想	77

セグメント概況 加工

- 3Q累計実績は、ロックダウンによる中国地域への販売の減少があったが、為替水準が円安に推移した事で前年同期比で増益。
- 通期見通しは、自動車減産による国内を中心とした販売の減少に加え、足許の為替水準が円高に推移していることなどから前回予想からの減益を見込む。
- ROICは、経常利益予想の下方修正により、6.4%（前回公表△1.3pt）となる。

(単位：億円)

項目	22年3月期 3Q累計実績 (a)	23年3月期 3Q累計実績 (b)	増減 (b-a)	22年3月期 実績 (c)	23年3月期 予想		増減 (e-d)	増減 (e-c)
					11/10公表 (d)	2/10公表 (e)		
売上高	989	1,072	83	1,326	1,501	1,420	△81	94
営業利益	101	113	12	141	155	134	△21	△7
経常利益	100	117	17	145	162	137	△25	△8
ROIC (%)					7.7	6.4	△1.3pt	

前年実績対比要因内訳額(億円)

前期経常利益	100
為替差	+37
価格差	△2
数量差	△19
その他	+1
当期経常利益	117

前回予想対比要因内訳額(億円)

前回予想	162
為替差	△4
価格差	△6
数量差	△36
その他	+21
今回予想	137

セグメント概況 金属事業

- 3Q累計実績は、為替水準が円安に推移したことや、電気銅の販売は増加したが、エネルギーコストの増加に加え、鉱山配当、持分法損益の減少などにより前年同期比で減益。
- 通期見通しは、電気銅の販売増加、実収効率の改善などを織込み前回予想から増益を見込む。
- ROICは、経常利益予想の上方修正があったものの、投下資本の増加により、8.3%（前回公表△1.0pt）となる。

(単位：億円、千t)

項目	22年3月期 3Q累計実績 (a)	23年3月期 3Q累計実績 (b)	増減 (b-a)	22年3月期 実績 (c)	23年3月期 予想			増減 (e-d)	増減 (e-c)
					11/10公表 (d)	2/10公表 (e)	増減 (e-d)		
売上高	7,119	8,365	1,245	9,971	10,907	11,105	198	1,134	
営業利益	169	184	15	252	197	219	22	△33	
経常利益	399	201	△197	502	207	214	7	△288	
電気銅販売量 (単体自社品)	225	245	20	316	309	317	8	0	
電気銅販売量 (PTS)	203	201	△2	271	233	236	3	△35	
鉱山配当	230	70	△159	235	74	72	△2	△162	
前年実績対比要因内訳額(億円)				ROIC (%)					
前期経常利益			399	9.3			8.3	△1.0pt	

前年実績対比要因内訳額(億円)	
前期経常利益	399
為替差	+76
価格差	△21
数量差	+37
受取配当金	△160
持分法損益	△25
その他	△104
当期経常利益	201

前回予想対比要因内訳額(億円)	
前回予想	207
為替差	△16
価格差	+14
数量差	+10
持分法損益	△2
その他	+1
今回予想	214

セグメント概況 環境・エネルギー事業

- 3Q累計実績は、原子力関連の販売の増加に加え、持分法損益の増加により前年同期比で増益。
- 通期見通しは、前回予想並みの経常利益を見込む。
- ROICは、環境リサイクル事業、再生エネルギー事業ともに、前回予想からほとんど経常利益の変動がないため、前回公表値から増減がない見込み。

(単位：億円)

項目	22年3月期 3Q累計実績 (a)	23年3月期 3Q累計実績 (b)	増減 (b-a)	22年3月期 実績 (c)	23年3月期 予想		増減 (e-d)	増減 (e-c)
					11/10公表 (d)	2/10公表 (e)		
売上高	132	130	△1	178	181	171	△10	△7
営業利益	10	16	6	22	23	23	0	1
経常利益	22	31	8	38	39	40	1	2
ROIC (%) 環境リサイクル					5.2	5.2	—	
ROIC (%) 再生エネルギー					2.4	2.4	—	

前年実績対比要因内訳額(億円)

前期経常利益	22
数量差	+9
持分法損益	+3
その他	△4
当期経常利益	31

前回予想対比要因内訳額(億円)

前回予想	39
持分法損益	+1
今回予想	40

UBE三菱セメント(株)概況

■UBE三菱セメント(株)連結損益計算書

(単位：億円)

項目	23年3月期 3Q累計実績	23年3月期 通期予想
売上高	4,496	5,920(6,575)
営業利益	△242	△280(△235)
経常利益	△224	△260(△225)
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	△333	△530(△495)

() は2022/11/10に発表した予想

■UBE三菱セメント(株)環境要因

項目	23年3月期 3Q累計実績	23年3月期 通期予想
セメント(国内総需要) 万t	2,859	3,800
セメント(国内)販売数量 万t	701	918
セメント(米国)販売数量 万st	131	171
生コン(米国)販売数量 万cy	548	706
石炭価格 \$/t	392	393
ドル為替レート 円/\$	137	134

■当社持分法投資損益

持分法による投資損失*	△169	△267(△264)
-------------	------	------------

*持分法による投資損失は当社業績予想におけるドル為替レート135円/ドルにて計算しております。

- 熱エネルギーコスト急騰に伴うセメント値上は、完遂した期初値上(+2,200円)の交渉が長引いたことにより、追加値上(+3,000円)の獲得は遅れているものの、早期獲得に向けて交渉中。
- 廃棄物利用拡大、省エネ対策などの収益改善を推進。
- 米国セメント・生コン事業は前年を上回る販売数量を確保しており、またエネルギーコストや原料費等の高騰に対し価格転嫁を実施。

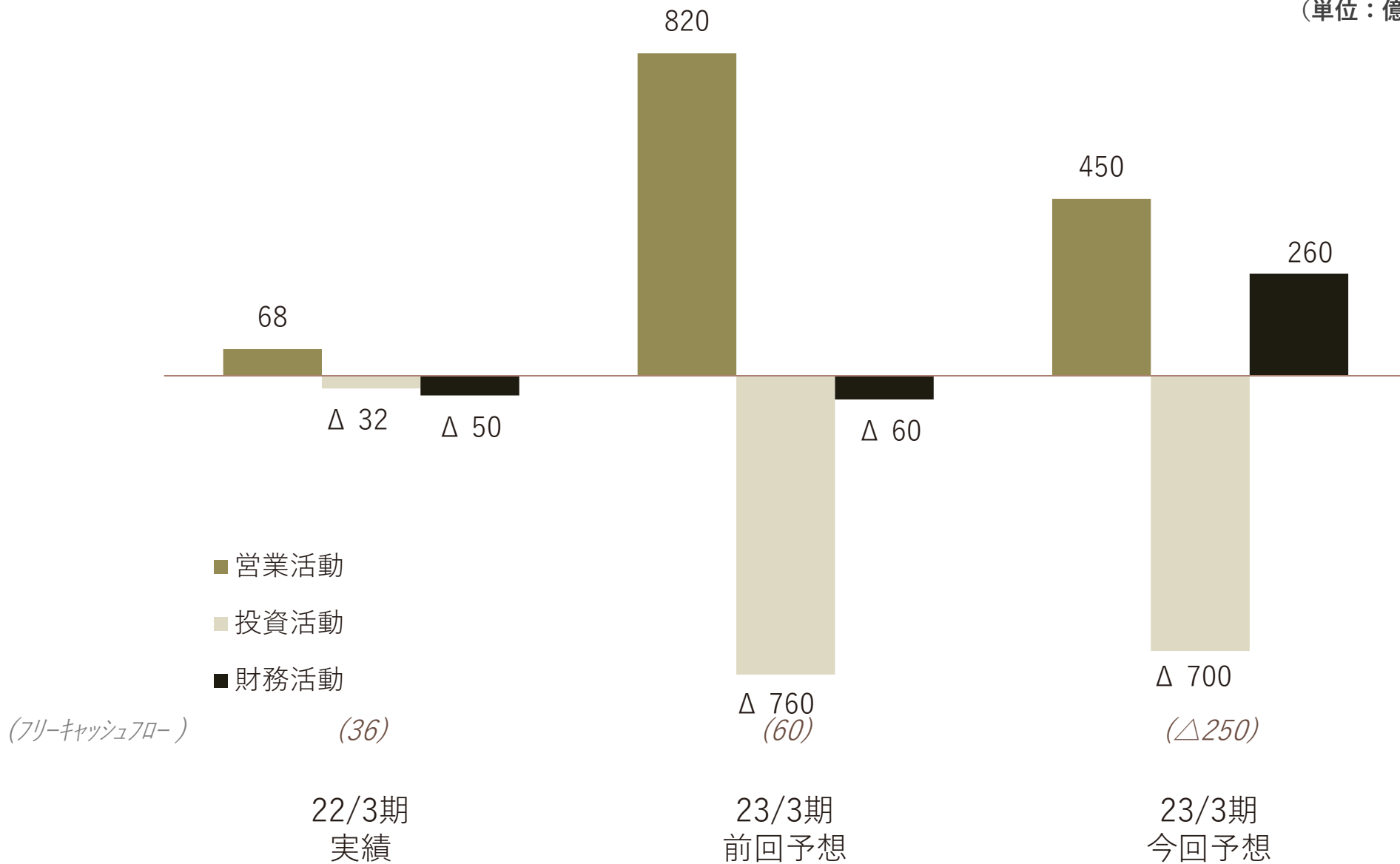
(参考) 22年12月末 連結貸借対照表

(単位：億円)

総資産	7,876	有利子負債	2,080	自己資本	3,360
自己資本比率	42.7%	ネットD/Eレシオ	0.44倍		

キャッシュ・フロー

(単位：億円)



【ご参考】前年実績対比（セグメント別 要因内訳）

（単位：億円）

項目		22年3月期 3Q累計 実績(a)	23年3月期 3Q累計 実績(b)	増減 (b - a)	事業PF 影響	為替差	価格差	数量差	受取 配当金	持分法 損益	その他
高機能製品*	売上高	3,568	3,971	403	△80	227	239	17	-	-	-
	営業利益	98	75	△23	△4	25	△17	5	-	-	△31
	経常利益	116	74	△42	△13	25	△17	5	1	5	△48
銅加工	売上高	2,676	3,041	365	△35	161	185	54	-	-	-
	営業利益	30	24	△6	△1	3	4	9	-	-	△21
	経常利益	37	9	△28	△10	3	4	9	1	5	△40
電子材料	売上高	902	933	30	△44	66	55	△47	-	-	-
	営業利益	67	55	△11	△3	23	△21	△3	-	-	△7
	経常利益	78	69	△9	△3	23	△21	△3	1	0	△6
加工	売上高	989	1,072	83	-	94	24	△35	-	-	-
	営業利益	101	113	12	-	37	△2	△19	-	-	△4
	経常利益	100	117	17	-	37	△2	△19	0	0	1
金属	売上高	7,119	8,365	1,245	-	1,596	△621	270	-	-	-
	営業利益	169	184	15	-	76	△21	37	-	-	△77
	経常利益	399	201	△197	-	76	△21	37	△160	△25	△104
環境・エネルギー	売上高	132	130	△1	△27	0	0	26	-	-	-
	営業利益	10	16	6	0	0	0	9	-	-	△3
	経常利益	22	31	8	0	0	0	9	0	3	△4
その他*	売上高	3,355	1,160	△2,195	△2,419	20	0	204	-	-	-
	営業利益	85	44	△41	△67	1	△2	25	-	-	2
	経常利益	63	△122	△185	△57	1	△2	25	7	△153	△6
調整額	売上高	△2,024	△2,264	△239	-	0	177	△416	-	-	-
	営業利益	△71	△54	17	-	0	0	2	-	-	15
	経常利益	△89	△53	36	-	0	0	2	0	8	26
合計	売上高	13,140	12,435	△704	△2,528	1,937	△180	68	-	-	-
	営業利益	393	379	△13	△71	139	△42	59	-	-	△98
	経常利益	612	249	△362	△72	139	△42	59	△153	△163	△130

*高機能製品合計額には、高機能製品共通として銅加工事業、電子材料事業間取引などを含めて記載しております。

*2022年4月1日に実施したセメント事業及びその関連事業等の統合に伴い、セメント関連は「その他」に含めて記載しております。

【ご参考】 22年3月期実績四半期別推移

(単位：億円)

項目		22年3月期実績						
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
高機能製品*	売上高	1,157	1,148	2,305	1,262	1,291	2,553	4,859
	営業利益	32	26	58	39	48	88	147
	経常利益	42	30	72	44	52	96	169
銅加工	売上高	865	864	1,729	946	990	1,936	3,666
	営業利益	9	4	14	16	15	32	46
	経常利益	17	2	19	18	15	33	53
電子材料	売上高	295	287	583	319	304	623	1,207
	営業利益	22	21	43	23	33	56	100
	経常利益	25	27	53	25	37	63	116
加工	売上高	334	320	654	334	336	671	1,326
	営業利益	21	37	58	42	39	82	141
	経常利益	21	36	57	42	45	87	145
金属	売上高	2,371	2,323	4,694	2,425	2,852	5,277	9,971
	営業利益	71	77	148	21	83	104	252
	経常利益	166	82	249	149	103	252	502
環境・エネルギー	売上高	55	36	91	40	46	86	178
	営業利益	2	4	7	2	12	15	22
	経常利益	5	8	14	7	16	24	38
その他*	売上高	1,088	1,098	2,186	1,168	1,239	2,408	4,595
	営業利益	37	24	61	23	19	43	105
	経常利益	34	14	49	14	3	17	66
調整額	売上高	△730	△603	△1,333	△691	△789	△1,480	△2,813
	営業利益	△15	△27	△43	△27	△70	△98	△142
	経常利益	△19	△41	△61	△27	△71	△99	△161
合計	売上高	4,276	4,323	8,600	4,539	4,977	9,517	18,117
	営業利益	148	141	290	102	133	236	527
	経常利益	251	130	382	229	148	378	760

*高機能製品合計額には、高機能製品共通として銅加工事業、電子材料事業間取引などを含めて記載しております。

*2022年4月1日に実施したセメント事業及びその関連事業等の統合に伴い、セメント関連は「その他」に含めて記載しております。

【ご参考】23年3月期見通し四半期別推移

(単位：億円)

項目	23年3月期見通し							
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	
高機能製品*	売上高	1,332	1,270	2,603	1,368	1,392	2,760	5,363
	営業利益	37	24	61	13	5	18	79
	経常利益	38	23	61	13	△5	8	69
銅加工	売上高	1,037	963	2,001	1,040	1,079	2,119	4,120
	営業利益	10	14	24	0	△5	△5	19
	経常利益	7	5	12	△3	△13	△16	△4
電子材料	売上高	299	304	604	329	317	646	1,250
	営業利益	25	12	38	16	11	27	65
	経常利益	30	20	50	18	9	27	77
加工	売上高	362	355	718	353	349	702	1,420
	営業利益	43	35	78	34	22	56	134
	経常利益	50	37	88	29	20	49	137
金属	売上高	2,888	2,766	5,655	2,710	2,740	5,450	11,105
	営業利益	58	100	159	25	35	60	219
	経常利益	114	86	201	0	13	13	214
環境・エネルギー	売上高	50	51	102	28	41	69	171
	営業利益	10	5	15	0	8	8	23
	経常利益	14	10	25	5	10	15	40
その他*	売上高	351	378	729	430	467	897	1,626
	営業利益	7	17	24	19	16	35	59
	経常利益	△38	△69	△108	△13	△89	△102	△210
調整額	売上高	△759	△729	△1,488	△775	△622	△1,397	△2,885
	営業利益	△17	△27	△44	△9	△31	△40	△84
	経常利益	△7	△29	△37	△15	△48	△63	△100
合計	売上高	4,226	4,093	8,319	4,115	4,366	8,481	16,800
	営業利益	139	156	295	84	51	135	430
	経常利益	170	59	230	19	△99	△80	150

*高機能製品合計額には、高機能製品共通として銅加工事業、電子材料事業間取引などを含めて記載しております。

*2022年4月1日に実施したセメント事業及びその関連事業等の統合に伴い、セメント関連は「その他」に含めて記載しております。

【ご参考】 諸元・前提条件四半期別推移

項目		22年3月期実績						
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
伸銅品販売量	千 t	34	34	68	35	35	70	138
電気銅販売量(単体自社品)	千 t	72	74	146	79	92	170	316
電気銅販売量(PTS)	千 t	66	65	131	72	68	140	271
鉱山配当	億円	94	0	94	135	5	140	235
ドル為替レート	円/\$	109	110	110	114	116	115	112
ユーロ為替レート	円/€	132	130	131	130	130	130	131
銅価格(LME)	¢/lb	440	425	433	440	453	446	440

項目		23年3月期実績・見込						
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
伸銅品販売量	千 t	34	33	66	35	34	69	135
電気銅販売量(単体自社品)	千 t	79	83	162	83	71	155	317
電気銅販売量(PTS) *	千 t	68	70	138	63	35	98	236
鉱山配当	億円	51	5	57	13	2	15	72
ドル為替レート	円/\$	130	138	134	142	130	136	135
ユーロ為替レート	円/€	138	139	139	144	140	142	140
銅価格(LME)	¢/lb	432	351	392	363	395	379	385

* 電気銅販売量は買鉱製錬による電気銅販売量となります。

お問合せ先

三菱マテリアル株式会社
経営戦略部 コーポレートコミュニケーション室 IRグループ

〒100-8117 東京都千代田区丸の内3-2-3 丸の内二重橋ビル

ml-mmcir@mmc.co.jp

<https://www.mmc.co.jp/corporate/ja/index.html>

<免責事項>

本資料における見通しは、本資料発表日時点で入手可能な情報により当社が判断したものです。
実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、本資料業績予想と大きく異なる可能性があります。
本資料に掲載されている内容・写真・図表などの無断転載を禁止します。